

■クリティカル・シンキング

クリティカル・シンキングとは、「適切な基準や根拠に基づく、理論的で、偏りがない思考」のことをいう。クリティカル (critical) というと、「批判的」という訳が一般的だが、ここではむしろ「注意深く判断すること」という意味で使っている。

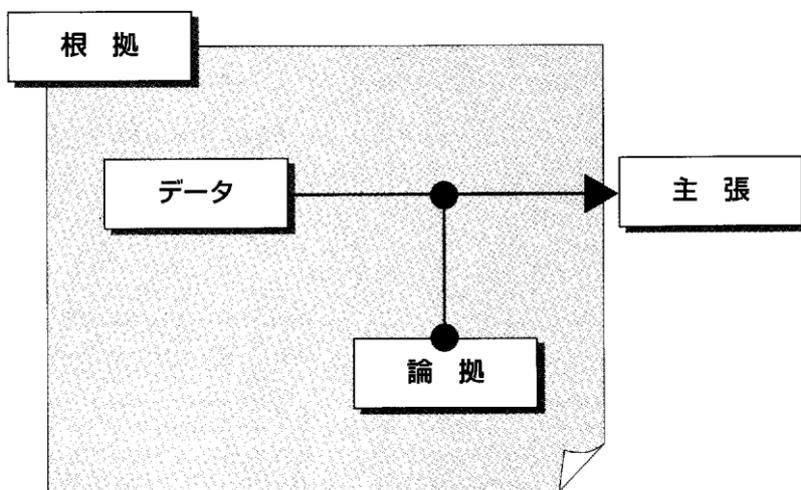
日本では、あまりよいイメージを持たれていない。本書を出すときも、前著の『クリティカル・コミュニケーション』(同友館、2003) を出版するときも、この「クリティカル」ということばが問題となった。

「日本人にはどうしても『批判』という悪いイメージがある」というのが論拠だった。

批判とは、ことばで相手の行為や意見を評価することだ。日本では、ことばで否定的なことを指摘することを特に「批判」と呼んでいる。さらに、批判されると人格が否定されたように思ってしまう。

しかしながら、英語の「critical」には本来、そのような意味はない。むしろ、「省察的な」「鑑識眼のある」という意味であり、決して人格を否定するような意味合いはない。

■ロジックとは



ロジック：根拠（データと論拠）に基づく主張

■同じデータでも、論拠の違いが主張の違いを生む。

